

# Disclosure 2020

## 城南信用金庫の 経営内容について

2020年度上半期

(2020年4月1日から9月30日までの6カ月間)



私たちはお客様応援企業として、地域の皆様の幸せを守り、地域社会の発展、繁栄に貢献します



当金庫の概要 (2020年9月末現在)

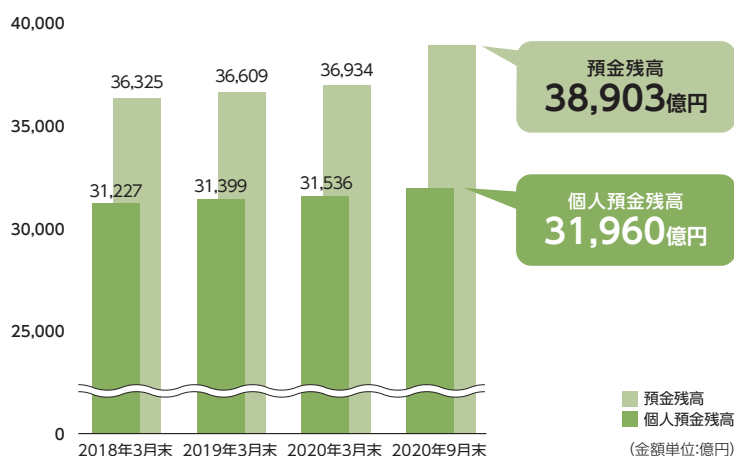
設立/ 昭和20年8月 会員/ 277,316名 出資総額/ 490億円 従業員/ 2,165名  
本店/ 東京都品川区西五反田7-2-3  
店舗/ 86店 (うち有人出張所2・インターネット支店1)

# 1 業績について

## 預金について

預金については、この半年間で1,968億円増加し、残高は3兆8,903億円となりました。

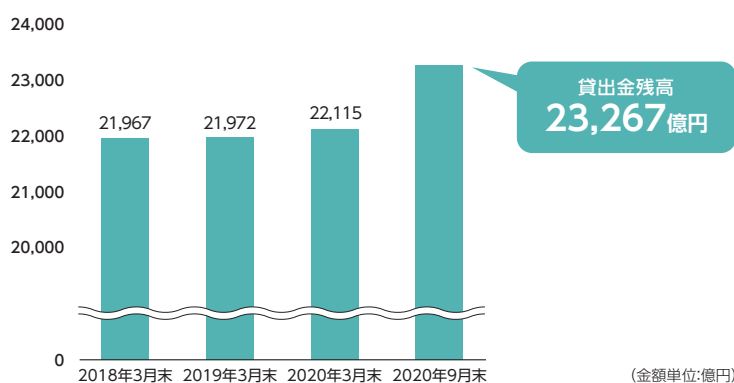
また、地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターともいべき個人預金については、3兆1,960億円となりました。



## 貸出金について

### 1. 貸出金残高

貸出金については、お客様に喜んでいただける融資の推進に取組んだ結果、残高は2兆3,267億円となりました。



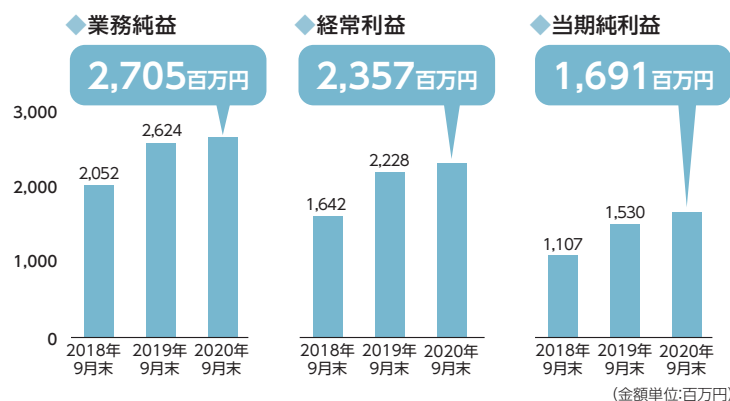
### 2. 新型コロナウイルスの影響による融資実行数等

2020年4月から9月末までの新型コロナウイルスの影響による融資実行件数および融資実行累計額は以下の通りです。

	(金額単位:億円)
融資実行件数	12,426
融資実行累計額	2,906

# 2 収益について

収益については、本業からの利益である業務純益は27億5百万円、経常利益は23億57百万円、当期純利益は16億91百万円となりました。



### 3 自己資本比率について

2020年9月末の当金庫の自己資本比率は9.78%となり、国内基準である4%の2倍以上であり、当金庫の経営の健全性がわかりいただけだと思います。

#### ◆自己資本比率

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額 (コア資本に係る基礎項目の額 - コア資本に係る調整項目の額)}}{\text{信用リスク・アセット + オペレーショナルリスク}} \times 100 = 9.78\%$$

1,798億円  
1兆8,375億円

### 4 債務者区分別貸出先数・貸出金残高等、分類貸出金

当金庫では、全貸出先について自己査定を実施していますが、自己査定にあたっては、まず債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別貸出先数・貸出金残高等」です。

#### ◆債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

(金額単位:億円)

		先 数	金 額 (構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	45,859	16,728 ( 71.9%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	6,513	5,953 ( 25.6%)
内 訳A	貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	6,477	5,909 ( 25.4%)
B	貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	36	43 ( 0.2%)
C	期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	0	0 ( 0%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,089	422 ( 1.8%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	216	57 ( 0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	63	15 ( 0.1%)
国・地方公共団体 (回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)		2	89 ( 0.4%)
合 計		53,742	23,267 (100.0%)

次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金をI分類からIV分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

#### ◆分類貸出金

(金額単位:億円)

	金 額 (構成比)	償却・引当 予定額
I 分類 回収について問題のない貸出金	18,934 ( 81.4%)	—
II 分類 回収について注意を要する貸出金	4,318 ( 18.6%)	—
III 分類 回収について重大な懸念がある貸出金	14 ( 0.1%)	14
IV 分類 回収不能と判定される貸出金	0.7 ( 0.0%)	0.7
合 計	23,267 (100.0%)	15

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

※2019年度以前に引当てした貸出金はI分類となっています。

※III分類、IV分類の貸出金は2020年4月1日から2020年9月末までに発生したものを計上しています。

9月末現在、III分類、IV分類の貸出金は合計15億円ありますが、これについては、決算時に全て償却・引当処理し、当金庫の不良債権は実質ゼロとなる見込みです。

なお、分類貸出金については、法律で開示が義務付けられていないため、開示していない金融機関がありますが、当金庫は、経営内容をガラス張りにして開示する観点から自主的に開示しています。

## 5 金融再生法で定められた債権区分

「金融再生法で定められた債権区分」は次の通りです。このうち、「危険債権」と「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、引き続き回収に鋭意取組んでまいりますが、万一、年度末までに回収できない場合は、決算時に全て償却・引当処理する見込みです。

(金額単位:億円)

	金額(構成比)	うち無保全額	償却・引当予定額
正常債権	22,744 ( 97.7%)	—	—
要管理債権	38 ( 0.2%)	—	—
危険債権	423 ( 1.8%)	14	14
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	73 ( 0.3%)	0.9	0.9
合計	23,278 (100.0%)	15	15

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。

※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

## 6 信用金庫法で定められたリスク管理債権

「信用金庫法で定められたリスク管理債権」は次の通りです。「リスク管理債権総額」240億円のうち、担保・保証が付いているものが199億円ありますので、担保・保証控除後の「リスク管理債権」、いわゆる無保全部分は41億円となっていますが、引き続き減少に鋭意取組んでまいります。

なお、今年度に入って発生した不良債権に対する引当分等や、回収された引当金を加味すると、貸倒引当金残高は36億円、貸倒引当金控除後のリスク管理債権は5億円となります。

(金額単位:億円)

	金額
リスク管理債権総額(A)	240
破綻先債権額	15
延滞債権額	68
3ヵ月以上延滞債権額	—
貸出条件緩和債権額	156
うち担保・保証付き債権額(B)	199
リスク管理債権(C)=(A)-(B)	41
貸倒引当金残高(D)	36
貸倒引当金控除後のリスク管理債権(E)=(C)-(D)	5

## 7 有価証券の状況

9月末における有価証券の保有状況は次の通りです。

### ◆ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券

該当ありません。

### ◆ その他有価証券で時価のあるもの

(金額単位:百万円)

	帳簿価額	時価	評価差額	評価差額の内訳	
				過年度処理済額	今年度増減額
株式	87	236	148	134	14
債券・その他	400,629	401,395	765	1,526	△760
合計	400,717	401,632	914	1,660	△746

※評価差額の過年度処理済額は、税効果相当額を控除し、純資産の部にて処理が済んでいます。

### ◆ 時価を把握することが困難な有価証券

その他有価証券(非上場株式)	203百万円
子会社・子法人等株式	30百万円
組合出資金	400百万円

(注)各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。



## 「よい仕事おこしプラザ」がオープンしました

2020年7月3日(金)、大田区の羽田空港跡地に開業した「羽田イノベーションシティ」内に、よい仕事おこしネットワーク\*の拠点として「よい仕事おこしプラザ」がオープンしました。当面の間は、「新型コロナウイルス対策・ご相談本部」を併設し、これまでに、大手バイヤーに対し製品をプレゼンテーションする「コロナ感染防止対策製品発表会」、リモートによる「コロナ禍復興応援商談会」、さまざまな課題解決をお手伝いする「新型コロナ対策何でも大相談会」等を開催しました。

これまで培った全国の信用金庫や地方公共団体との絆を活用し、各種商談会や情報発信等を通じて中小企業の経営復調に向けたバックアップを行ってまいります。



\*「よい仕事おこしネットワーク」とは、全国の信用金庫約7,400店舗のネットワークを活用し、「販路拡大」や「さまざまな経営課題」についてマッチングや相談ができるネットワークで、当金庫が事務局を務めています。

↑「よい仕事おこしプラザ」のサイトはこちら



## 「イノベーションネットアワード2020」において経済産業大臣賞を受賞しました

「よい仕事おこしネットワーク」の取組みが、「イノベーションネットアワード2020」(主催:一般財団法人日本立地センター、全国イノベーション推進機関ネットワーク)において経済産業大臣賞を受賞しました。

地域活性化・中小企業のさらなる発展をめざし、イベント開催時だけでなく「毎日が“商談会”」を実現するために始まった取組みであり、お客様がお悩みごとを登録し、その情報を専属のコーディネーターが全国の信用金庫やバイヤー等に発信することで、地域の枠を超えた横断的な解決につなげるための専用サイトを運営しています。今後も全国の信用金庫や市区町村、メディア等との連携を深め、日本を明るく元気にするため取組んでまいります。



「よい仕事おこしネットワーク」のサイトはこちら↑

## 飲食店向け「コロナ対策支援セミナー」を開催しました

2020年9月30日(水)、農林水産省、経済産業省のご協力の下、飲食店向け「コロナ対策支援セミナー」を開催しました。

両省から講師をお招きし、飲食店が最大半額で食材を仕入れることができる農林水産省の事業をはじめ、コロナ禍の影響を受けている地域の事業者を支援するための国の施策や補助金等のご紹介を中心に、詳しくご説明いただきました。



## 「2020“よい仕事おこし”フェア」を開催します

地域の枠を超えた全国規模の事業者の出会いの場、地域創生の場、名産品アピールの場として、毎年開催してきた「よい仕事おこし」フェア。今年はコロナ禍の影響により、従来通り全国から多くの人が集まるイベントの開催が困難な状況にある一方、販路や商談機会を求める声は高まっています。そうしたご要望にお応えすべく、インターネットを活用した「オンライン開催」と、実際に対面形式で行う「リアル開催」を組み合わせた「2020“よい仕事おこし”フェア」を開催します。



↑  
「47CLUB」の  
サイトはこちら

「オンライン開催」では、2020年11月5日(木)から12月25日(金)の期間中、全国の地方新聞社が各地の特産品を紹介するウェブサイト「47CLUB」上に、全国の信用金庫の取引先企業が手掛ける特産品を出品する「特設サイト」を設置し、地元の逸品を販売します。

「リアル開催」としては、2020年11月5日(木)・6日(金)の2日間、羽田イノベーションシティ内の「よい仕事おこしプラザ」にてリモートによる商談会、相談会(要事前申込)を行うほか、屋外スペースで各種展示や物産品の販売、ステージイベントなどを行います。毎年ご好評いただいている「興こし酒プロジェクト」によるお酒のお披露目・販売のほか、11月6日(金)には、今年のNHKの朝の連続テレビ小説「エール」で一躍有名となった昭和の名作曲家、古関裕而氏の歌で日本を繋ぐ「古関裕而プロジェクト」として、「古関メロディーベスト5」の有名アーティストによる演奏や、古関氏が作曲した各地の校歌を披露するなどの催しを企画しています。

## 高円寺支店の新店舗が完成しました

高円寺支店が、2020年9月23日(水)より、福島県の産業支援の一環として、南会津産のカラマツを使用した新店舗にて営業を開始しました。1階は認可保育園にご提供し、子育て支援・地域コミュニティ支援の場としてご活用いただきます。お客様が来店される2階ロビーは、木の梁や床で包まれ、明るくぬくもりのある親しみやすい雰囲気となっています。



## 「キャッチボールクラシックin城南CUP」を開催しました

子どもたちに少しでも夢や希望を持っていただく機会をつくりたいと考え、城南地区(大田区、世田谷区、目黒区、品川区)の19の少年軟式野球チームに参加いただき、2020年10月3日(土)、感染対策を講じた上で「キャッチボールクラシックin城南CUP」を開催しました。9人1組のチームが2分間で何回キャッチボールができるか、その正確さとスピードを競う、一般社団法人プロ野球選手会が考案したゲームで、当日は、同選手会にお越しいただき、上位3チームの表彰を行いました。



城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3

TEL. 03(3493)8111(代表) <https://www.jsbank.co.jp>

